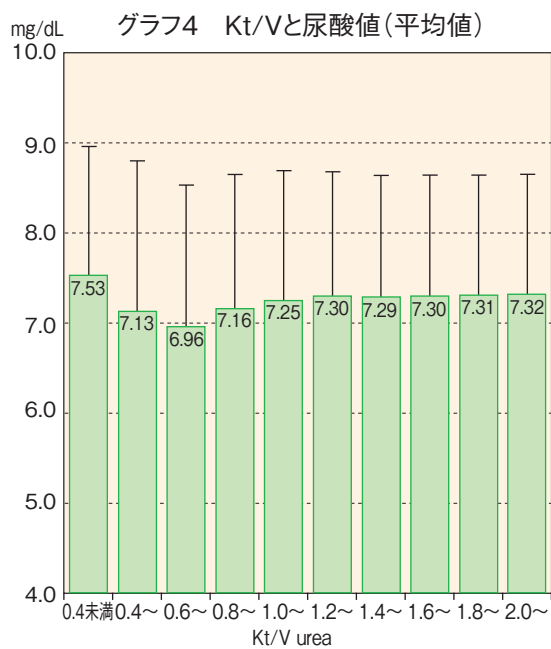
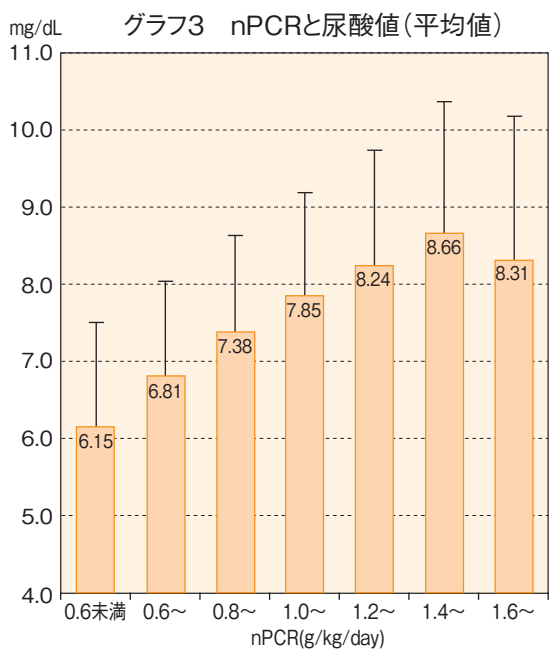
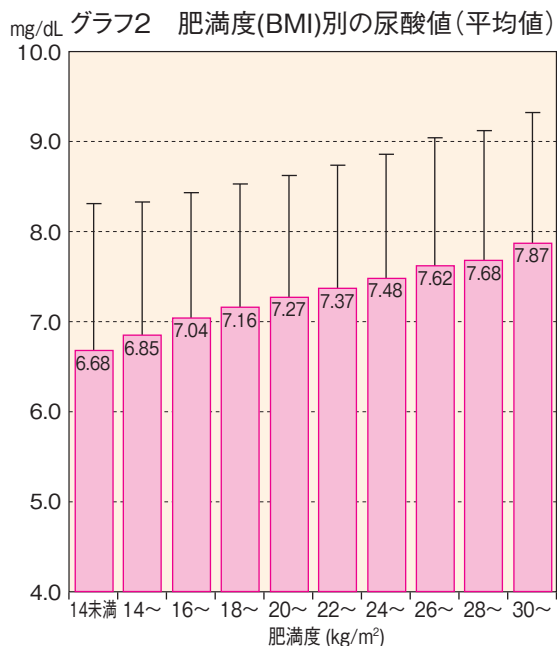
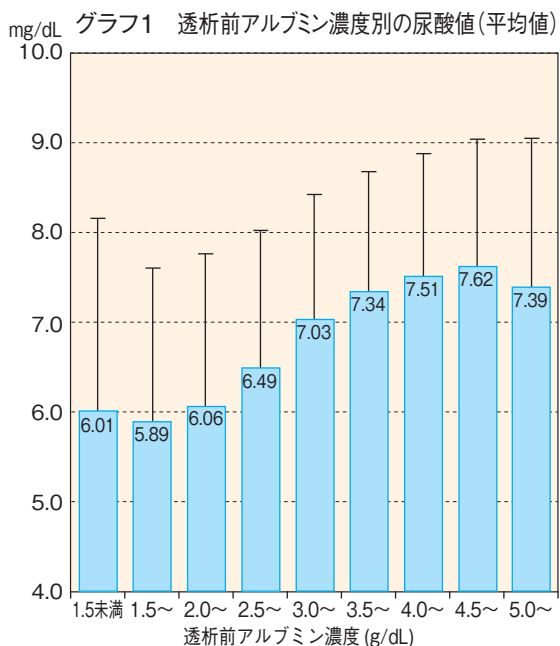


5) 尿酸関連調査

(4) 血清アルブミン濃度、肥満度、nPCR、Kt/Vと尿酸値の関係 (図表51)



グラフ1 集計対象：229,902 人
 グラフ2 集計対象：211,179 人
 グラフ3 集計対象：167,517 人
 (週3回透析、透析歴2年以上)
 グラフ4 集計対象：167,249 人
 (週3回透析、透析歴2年以上)

患者調査による集計

解説

栄養状態、透析量と尿酸値の関係について検討した。

血清アルブミン高値例ほど尿酸値が高く、また肥満度と尿酸値についてはほぼ直線的な関係を認めた。

nPCRが多い群ほど尿酸値が高い傾向が顕著にみられた。

Kt/V ureaと尿酸値については、Kt/V 1.0未満でやや低値を認めたが、Kt/V増大に伴う明らかな差異はみられなかった。

尿酸値に対しては栄養状態、摂取量、産生系の影響が大きいことが示唆された。